

受験番号

氏名

生年月日

3 級

2023年度 統一試験 模擬問題

第165回対策

問題・答案用紙

(制限時間 60分)



Net-School

<https://www.net-school.co.jp/>

©Net-School

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、設問ごとに最も適切と思われるものを選び、答案用紙の（ ）の中に記号で解答すること。なお、消費税は指示された問題のみ考慮すること。

1. 本日（期首）、前期末に計上した当座借越¥329,000を当座預金勘定に振り戻した。なお、当社は取引銀行と借越限度額¥700,000の当座借越契約を締結している。
ア. 貯蔵品 イ. 現金 ウ. 当座借越
エ. 現金過不足 オ. 未払金 カ. 当座預金
2. 中部株式会社に商品¥245,000を売り上げ、代金のうち¥49,000は注文時に受け取った手付金と相殺し、残額は掛けとした。
ア. 前払金 イ. 仮受金 ウ. 売上
エ. 前受金 オ. 売掛金 カ. 仮払金
3. 現金の帳簿残高が実際有高より¥4,200少なかったので、不一致の原因を調査することにした。
ア. 雑損 イ. 現金過不足 ウ. 未払金
エ. 雑益 オ. 現金 カ. 未収入金
4. かねて受け取っていた北陸株式会社振出しの約束手形¥371,000の満期日になり、同額が当座預金口座に振り込まれた。
ア. 普通預金 イ. 支払手形 ウ. 仕入
エ. 当座預金 オ. 売上 カ. 受取手形
5. 四国株式会社に対する買掛金¥245,000について、電子記録債務の発生記録の請求を行った。
ア. 売掛金 イ. 受取手形 ウ. 買掛金
エ. 電子記録債権 オ. 支払手形 カ. 電子記録債務
6. 建物の改修と修繕を行い、代金¥560,000は来月末に支払うこととした。このうち¥175,000は改良（資本的支出）であり、残額は定期的な修繕（収益的支出）である。
ア. 資本金 イ. 未収入金 ウ. 修繕費
エ. 支払家賃 オ. 未払金 カ. 建物
7. 東北株式会社から商品¥66,500を仕入れ、代金のうち¥10,500は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。なお、当社負担の引取運賃¥1,400は現金で支払った。
ア. 前払金 イ. 買掛金 ウ. 前受金
エ. 仕入 オ. 現金 カ. 仮払金
8. 期首に際して、前期末に費用勘定から貯蔵品勘定に振り替えていた郵便切手¥5,600と収入印紙¥14,000について、適切な勘定科目に振り戻した。
ア. 旅費交通費 イ. 支払手数料 ウ. 貯蔵品
エ. 通信費 オ. 租税公課 カ. 普通預金

採点欄	
第1問	

第165回対策模擬試験 答案用紙 3級① 商業簿記

第1問				
	借方		貸方	
	記号	金額	記号	金額
1	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
2	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
3	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
4	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
5	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
6	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
7	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
8	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

(次ページに続く)

9. 定時株主総会を開催し、繰越利益剰余金¥1,400,000の一部を次のとおり処分することが承認された。
株 主 配 当 金 : ¥175,000
利益準備金の積立て : ¥17,500
- | | | |
|--------|----------|------------|
| ア. 現金 | イ. 普通預金 | ウ. 未払配当金 |
| エ. 資本金 | オ. 利益準備金 | カ. 繰越利益剰余金 |
10. 得意先に対する売掛金（前期販売分）¥39,200が貸し倒れた。なお、貸倒引当金の残高は¥49,000である。
- | | | |
|------------|------------|------------|
| ア. 償却債権取立益 | イ. 貸倒損失 | ウ. 貸倒引当金戻入 |
| エ. 売掛金 | オ. 貸倒引当金繰入 | カ. 貸倒引当金 |
11. 関西株式会社に対する貸付金¥700,000の満期日になったため、元利合計が普通預金口座に振り込まれた。なお、貸付けの年利率は1.2%、貸付期間は4か月間であり、利息は月割計算する。
- | | | |
|---------|----------|---------|
| ア. 普通預金 | イ. 受取手数料 | ウ. 貸付金 |
| エ. 支払利息 | オ. 借入金 | カ. 受取利息 |
12. 期首に、不用になった車両運搬具（取得原価¥500,000、減価償却累計額¥499,999、間接法で記帳）を¥86,000で売却し、代金は現金で受け取った。
- | | | |
|------------|-----------------|----------|
| ア. 現金 | イ. 車両運搬具減価償却累計額 | ウ. 減価償却費 |
| エ. 固定資産売却損 | オ. 固定資産売却益 | カ. 車両運搬具 |
13. 商品¥196,000（本体価格）を売り上げ、代金は10%の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税は税抜方式で処理する。
- | | | |
|----------|----------|--------|
| ア. 仮受消費税 | イ. 仕入 | ウ. 売掛金 |
| エ. 売上 | オ. 仮払消費税 | カ. 買掛金 |
14. 店舗用の不動産を賃借する契約を締結し、保証金（敷金）¥350,000、不動産会社への手数料¥175,000および当月の家賃¥175,000を普通預金口座から支払った。
- | | | |
|----------|----------|----------|
| ア. 差入保証金 | イ. 受取手数料 | ウ. 前払金 |
| エ. 支払家賃 | オ. 普通預金 | カ. 支払手数料 |
15. 事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請求書			
株式会社大分商事 御中		N S 事務機株式会社	
品 物	数 量	単 価	金 額
資料用書棚 一式	3	¥140,000	¥420,000
配送料	1	¥ 33,600	¥ 33,600
据付費	1	¥ 22,400	¥ 22,400
合計			¥476,000

X9年5月31日までに合計額を下記口座へお振り込み下さい。
N S 銀行神田支店 普通 6234511 エヌエスジムキ（カ）

- | | | |
|--------|--------|----------|
| ア. 仮払金 | イ. 備品 | ウ. 買掛金 |
| エ. 未払金 | オ. 発送費 | カ. 支払手数料 |

採点欄	
第1問	

第165回対策模擬試験 答案用紙 3級② 商業簿記

(前ページより)

	借 方		貸 方	
	記 号	金 額	記 号	金 額
9	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
10	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
11	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
12	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
13	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
14	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	
15	()		()	
	()		()	
	()		()	
	()		()	

第2問

(1) 次の【資料】にもとづいて、各勘定口座に記入しなさい。〔 〕には【語群】から適切な語句を選択してア～ケの記号で記入し、〈 〉には金額を記入すること。()の日付欄は採点カ所としないため記入しなくてもよい。なお、決算は年1回、毎年3月31日であり、当期の会計期間はX3年4月1日からX4年3月31日である。

【資料】法人税等に関する取引

X2年11月25日 中間申告を行い、¥252,000を普通預金口座から納付した。

X3年3月31日 決算において確定額が¥532,000と算定されたため、中間納付額を差し引いた金額を未払計上した。

X3年5月27日 前期にかかる確定申告額を普通預金口座から納付した。

X3年11月30日 前期確定額の半額を中間納付額として、普通預金口座から納付した。

X4年3月31日 決算において、税引前当期純利益（法人税等を控除する前の利益）の30%を法人税等の確定額とし、中間納付額を差し引いた金額を未払計上する。

【語群】

ア. 諸 口 イ. 普 通 預 金 ウ. 損 益 エ. 法 人 税 等
オ. 仮 払 法 人 税 等 カ. 未 払 法 人 税 等 キ. 前 期 繰 越 ク. 次 期 繰 越
ケ. 繰 越 利 益 剰 余 金

採点欄	
第3問	

第165回対策模擬試験 答案用紙 3級③ 商業簿記

第2問

(1)

仮払法人税等

() [] < >	() [] < >
-------------	-------------

未払法人税等

() [] < >	4 / 1 [] < >
() [] < >	() [] < >
< >	< >

法人税等

() [] < >	() [] < >
-------------	-------------

損 益

3 / 31 仕 入	8,750,000	3 / 31 売 上	11,900,000
〃 給 料	980,000		
〃 そ の 他 費 用	280,000		
() [] < >			
() [] < >			
< >		< >	

(2) 次の【資料】にもとづいて、下記の問に答えなさい。なお、商品売買取引の処理は3分法により行っている。

【資料】 X8年6月中の取引

- 5日 X商品 84個を@¥500で売り上げた。
- 8日 5日に売り上げたX商品のうち14個が返品された。
- 12日 X商品 210個を@¥308で仕入れた。
- 22日 X商品 252個を@¥490で売り上げた。

問1 移動平均法により、答案用紙の商品有高帳を作成しなさい。なお、8日の売上戻りについては、受入欄に記入すること。

問2 移動平均法にもとづいた場合の、6月のX商品の売上総利益を求めなさい。

採点欄	
第2問	

第165回対策模擬試験 答案用紙 3級④ 商業簿記

(2)
問1

商品有高帳
X商品

(移動平均法)

X8年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1 前月繰越	140	300	42,000				140	300	42,000
	5 売 上				()	()	()	()	()	()
	8 売上戻り	()	()	()				()	()	()
	12 仕 入	()	()	()				()	()	()
	22 売 上				()	()	()	()	()	()
	30 次月繰越				()	()	()			
		()	—	()	()	—	()			

問2

¥

第3問 (35点)

次の(1)決算整理前残高試算表および(2)決算整理事項等にもとづいて、答案用紙の貸借対照表および損益計算書を完成しなさい。なお、消費税の仮受け・仮払いは、売上取引・仕入取引のみで行うものとする。会計期間は4月1日から翌3月31日までの1年間である。

(1) 決算整理前残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
319,200	現 金	
	当 座 預 金	35,000
648,200	普 通 預 金	
616,000	売 掛 金	
288,400	仮 払 消 費 税	
105,000	繰 越 商 品	
3,780,000	建 物	
1,260,000	備 品	
4,200,000	土 地	
	買 掛 金	798,000
	借 入 金	2,100,000
	仮 受 金	56,000
	仮 受 消 費 税	567,000
	貸 倒 引 当 金	4,200
	建物減価償却累計額	2,551,500
	備品減価償却累計額	504,000
	資 本 金	3,850,000
	繰越利益剰余金	557,200
	売 上	5,670,000
2,884,000	仕 入	
1,939,000	給 料	
116,900	法 定 福 利 費	
64,400	水 道 光 熱 費	
245,000	通 信 費	
168,000	保 険 料	
58,800	支 払 利 息	
16,692,900		16,692,900

(2) 決算整理事項等

- 仮受金は全額、得意先からの売掛金の普通預金への振込みであることが判明した。
- 当座預金勘定の貸方残高全額を当座借越勘定に振り替える。当社は取引銀行との間に借越限度額¥210,000の当座借越契約を締結している。当座借越勘定残高は、貸借対照表上、借入金に含める。
- 現金の実際有高は¥312,200であり、差額の原因が不明であったため、雑損として適切に処理する。
- 売掛金の期末残高に対して2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 消費税の処理(税抜方式)を行う。
- 期末商品棚卸高は¥266,000である。
- 建物および備品について、以下の要領でそれぞれ定額法により減価償却を行う。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数40年
備品：残存価額ゼロ 耐用年数5年
備品のうち¥420,000は当期の8月1日に購入しており、同様に減価償却を行い、月割計算する。
- 保険料のうち前払分¥56,000を計上する。
- 借入金のうち¥700,000は、当期の12月1日に期間1年、利率年3.6%で借り入れたものであり、1年後に利息とともに返済することになっている。利息について月割により適切に処理する。
- 法人税、住民税及び事業税¥21,000を計上する。なお、当期に中間納付はしていない。

採点欄	
第3問	

第165回対策模擬試験 答案用紙 3級⑤ 商業簿記

第3問 (35点)

貸借対照表

X8年3月31日

(単位:円)

現金	()	買掛金	()
普通預金	()	借入金	()
売掛金 ()		()費用	()
貸倒引当金 ()	()	()消費税	()
商品	()	未払法人税等	()
()費用	()	資本金	()
建物 ()		繰越利益剰余金	()
減価償却累計額 ()	()		
備品 ()			
減価償却累計額 ()	()		
土地	()		
	()		()

損益計算書

X7年4月1日からX8年3月31日まで

(単位:円)

売上原価	()	売上高	()
給料	()		
法定福利費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
通信費	()		
水道光熱費	()		
保険料	()		
雑損	()		
支払利息	()		
法人税等	()		
当期純()	()		
	()		()